



入学おめでとう!!



校長お祝いの言葉（抜粋）

～前略～さて、今日からみなさんは阿用小学校の1年生です。

学校は、勉強をするところです。これまでわからなかったことがわかるようになり、賢い子になるところです。そして、運動をするところです。走ったり、ボール遊びをしたりして強くたくましい子になるところです。また、お友だちと仲良く遊び、思いやりのある優しい子になるところです。

この阿用小学校のお兄さん・お姉さんはとても心の優しい人ばかりで、みんな仲良しで、嫌がらせをするような人は一人もいません。お兄さんやお姉さんたちとも早く仲良しになって、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

みなさんの前には、2年生から6年生までのお兄さんやお姉さんがいますね。合わせて44名のお兄さん、お姉さんです。みなさんが入学してくることをとっても楽しみに首を長くして待っていたのですよ。

今日の入学式のために、一生懸命心を込めて準備もしてくれました。

こちらを見てください。1年生のみなさんの担任は〇〇先生です。そして、ひまわり学級の担任の先生は、□□先生です。お二人とも優しく、明るくて温かい先生ですよ。

みなさんが毎日楽しく学校に来ることができるよう、勉強はもちろん、安全な学校への行き方や学校からの帰り方、掃除の仕方や給食の準備の仕方、食べ方、そして誰もが得意なことや苦手なことがあること。だから助け合って毎日の生活を送っていくことが大切だということなどたくさんのお話を分かります。だから助け合って毎日の生活を送っていくことが大切だということなどたくさんのお話を分かります。分からないことがあったら何でも聞いてください。

他にもたくさんの先生方がいらっしゃいます。どの先生もみなさんの入学を「まだか、まだか」と待っていました。先生方はみんな、とても優しく、何でも丁寧に教えてくださいますから、とても安心ですよ。

今日、みなさんが、阿用小学校で毎日仲良く、楽しくすごしていくためにがんばってほしいことを三つお話しします。

一つ目は、「元気にあいさつできる子」になることです。あいさつには「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」などいろいろあります。心から言って、あいさつで気持ちを届けられることができるようになってほしいと思います。

二つ目は、話している人の方におへそを向けて「お話をよく聴く子」になることです。みんなで力を合わせて生活していく小学校では、お話をよく聴いていないと困ったことになってしまうことがあります。先生や友だちのお話をよく聴いて、分からないことがあったら、自分から何でも訊けるようになってほしいと思います。

最後の三つ目は、「自分の命は自分で守れる子」になることです。まだみなさんには難しいこと

かもしれませんね。交通事故にあわないように「右見て左見て、もう一度右を見て」決して飛び出

【裏面に続きます】



しをしない。知らない人に声を掛けられてもついていけない。まずは、この二つのことに気をつけてください。

お話がりっぱに聞けました。すばらしい一年生ばかりだということがよくわかりました。

〔これから、みなさんのお父さんやお母さんにお話をしますから、少し体を楽にして静かに待っていてくださいね。〕

保護者の皆様、お子様の小学校ご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

今お子さんは、幼児用の小さな小さな椅子にちょこんと腰掛けていらっしゃいます。それが6年後には、大人用のパイプ椅子に堂々と座って卒業を迎えることとなります。小学校の6年間は目に見える身体の成長だけでも本当に大きいものがあります。ましてや目に見えない頭脳や心の成長となるとそれを遥かに上回ると思います。小学校6年間に登下校だけで、歩いた距離は長い子で、5000kmにもなります。これは北海道から、沖縄までを往復できるほどの長い道のりです。6年間という年月の積み重ねはそれほど大きく、尊いものです。

大切に育ててこられた、かけがえのない「宝もの」であるお子様を、6年間責任を持ってお預かりいたします。

私ども教職員と保護者の皆様、そして地域の方々が、共に手を携え、心をつなぐ、お子様の成長のため全力を尽くし、見守り、支援していきたいと考えております。どうぞ温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。また、お困りのことなどがございましたら、どうか遠慮なく、学級担任をはじめ、関係の教職員にご連絡をいただければと思います。

～中略～それでは、一年生の皆さん、今夜はよく眠って明日からは早く起きて、朝ご飯をしっかりと食べて、お兄さん、お姉さんたちと一緒に元気いっぱい学校に来てください。

一年生の明日からの健やかな成長を願って私のあいさつとします。

黄金の三日間



◇「黄金の三日間」とは、年度初めの1学期始業式の日担任と子どもたち一人ひとりの出会いに始まり、学級のルール、約束事などを話し合ったり決めたりする中で、担任と子ども、児童相互の信頼関係が紡がれていく、他の日をもって代えがたい大切な三日間をいいます。この三日間で確かな信頼関係を築き、すべての子どもたちが温かな集団の中で安心して自分の力を発揮できるようになってほしいと思っています。